進行管理・実施状況評価の考え方

（１）目的

本町においては、男女共同参画社会基本法に基づく市町村男女共同参画計画として、令和３年３月に「第５次さむかわ男女共同参画プラン」を制定した。

また、本計画は、寒川町総合計画「さむかわ２０４０プラン」に基づく分野別の基本計画の一つでもある。

第５次計画は、令和３年度から令和６年度を計画期間とする本町のあらゆる分野にわたる計画であり、その推進に当たっては、全庁的な取り組みを必要とする。

各事業にわたる計画の進捗状況を確実に把握し、その評価を行うことにより、計画の実効性を確保し、男女共同参画社会の実現に向けた諸施策を推進する。

（２）評価の対象及び方法等

【評価の対象】

①事業実施担当課が実施する各事業の評価

各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、町民窓口課（令和３年度から）において、その実施状況をとりまとめ、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会（以下「推進協議会」という。）に報告し、意見を伺う。

②基本目標の評価

第５次さむかわ男女共同参画プランで定める４つの基本目標の評価は、各事業の評価内容を踏まえ、推進協議会において実施する。

推進協議会では、各基本目標が計画期間の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてはどのようにして進めるべきかなどについて、総合的な広い観点から評価するものとする。

なお、この基本目標の評価結果は次期計画の策定に関し重要な参考資料とする。

【評価の方法】

1．進行管理表（別紙）により、各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、さむかわ男女共同参画プラン連絡会（以下「連絡会」という。）に報告し、推進協議会へ最終報告を行う。

2．事業の実施状況及びその評価内容について、町民に公表する。

【各事業の評価基準】

事業実施担当課が、目標の「達成度」、「今後の方向性」について自己評価を行う。

判定区分は下記のとおり。

【目標の達成度】

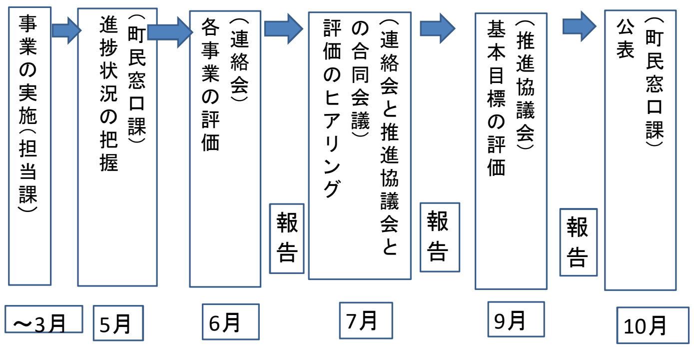
Ａ：目標達成
Ｂ：概ね目標達成
Ｃ：目標に向け事業が遅れている
Ｄ：目標に向け事業がほとんど進んでいない

→【目標の達成度】についての考え方
A：目標値に達している
B：目標値に対し80％以上の実績値
C：目標値に対し80％未満の実績値
D：目標値に対し取り組むことができなかった

【今後の方向性】

１．更に充実強化していく
２．計画どおり取り組む
３．一部見直しが必要
４．事業の休止または廃止

進行管理・評価の流



<基本目標Ⅰ　あらゆる分野での女性の活躍推進>

施策の基本的方向　１．政策や方針決定過程などへの女性の参画の促進
施策の内容（１）事業所等への女性登用の促進

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
1	管理職への女性登用の推進 事業所としての町の取り組みとして、能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	管理職の職員数における女性の割合（%）	20 18	20 22	20 20	20 22	令和6年度末時点管理職数（7級・8級） 管理職数：58名 うち女性 ：13名（22.4%） 管理職への登用は、能力と実績に基づき任用していくことを基本としているものの、女性職員の比率は、年度によりばらつきが大きい状況となっている。これは、出産・子育て等を契機とする離職者等の発生によるものであるが、ここ数年は新規採用職員における女性の割合も高くなってきているほか、女性職員のキャリア形成に関する研修を企画するなど、取組を進めている。	A 2	管理職への登用は、男女の区別なく総合評価による抜擢人事としていることから、女性職員のみを優遇することは難しいが、仕事と家庭の両立に向けた各種制度の整備・周知もあり、目標を達成したことから、標記の評価とした。	A	各年度管理職の職員数における女性の割合目標として20%としているのに対し、3年度の実績については18%と届かなかったが、4年度以降目標を達成している状況であることから、標記の評価とした。	人事課
2	勤労者実態調査の実施 町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に３年毎に実施し、その結果を事業所に周知します。	調査票の回収率（%）	 —	 -	40 33	 -				B	3年に一度の調査事業のため、令和3年から令和6年までの評価では単年度の評価となってしまいますが、障がい者雇用やリスキリング等、トレンドに合わせた設問の設定をする等、労働行政の基礎資料とするよう努めました。	産業振興課

施策の基本的方向　１．政策や方針決定過程などへの女性の参画の推進

施策の内容（２）町審議会などへの女性委員の登用

事業番号	事業名／事業内容	指標	３年度 目標値／実績	４年度 目標値／実績	５年度 目標値／実績	６年度 目標値／実績	現状と課題（令和6年度）	評価／今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
3	女性委員登用の推進 町審議会などの職指定委員の見直しを図り、女性委員の登用をより一層推進します。	町審議会の女性委員の登用率（%）	26	28	30	32	地方自治法（第202条の3）に基づく審議会等の女性の登用状況 該当する審議会等数　15 総委員数　204名 うち女性委員数　57名 女性委員比率　27．9% 公募委員の選考に当たっては、男女比に配慮して女性委員の登用を進めているが、委員の選出を団体や組織に依頼する場合が多く、その団体や組織の特性から女性が少ないといった個別の状況もある。また、職を指定している場合に、その職に女性が就いていないことも多い。 前年度（令和5年度21%）より女性委員の割合が減少しているため、次年度の目標値に向け、引き続き選出方法の工夫・選出団体への女性登用の意識づけに取り組む必要がある。	B	前年度（令和5年度21%）より登用率が増加したが、目標値にたいして87．5%の実績値だった。	B	4年間の実績が目標値を上回ることがなかった年度もあるため、更に取組が必要。	町民窓口課
			27	33	21	28		2				

施策の内容（３）住民活動などにおける女性の活躍促進

事業番号	事業名／事業内容	指標	３年度 目標値／実績	４年度 目標値／実績	５年度 目標値／実績	６年度 目標値／実績	現状と課題（令和6年度）	評価／今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
4	女性の活躍のための講座の開催 女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数（人）	100	100	100	100	神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日：2025年（令和7年）2月13日（木）～2025年（令和7年）2月26日（水） 実施場所：YouTubeによる動画配信 講　師：山本　衣奈子（やまもと　えなこ）氏 テーマ：仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座 「伝える」から「伝わる」へ　～相手のココロを動かすコミュニケーション術～ 参加者数：148名	A	出席者数が148人で、目標値を上回ったため。 固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	A	毎年度、目標を達成することができ、住民の意識向上に寄与できていると考える。	町民窓口課
			135	188	278	148		2				

施策の基本的方向　２．働きたい、働き続けたい女性の支援
　施策の内容（１）女性の人材育成の充実

事業番号	事業名 事業内容	指標	3年度 目標値 実績	4年度 目標値 実績	5年度 目標値 実績	6年度 目標値 実績	現状と課題 （令和6年度）	評価 今後の方向性	評価の理由 （令和6年度）	第5次プラン (4年間)の評価	第5次プラン （R3～R6までの4年間） 評価の理由	担当課
5	女性の活躍のための講座の開催（再掲）						神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日:2025年(令和7年)2月13日(木)～2025年(令和7年)2月26日(水) 実施場所:YouTubeによる動画配信 講　師:山本　衣奈子(やまもと　えなこ)氏 テーマ:仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座 「伝える」から「伝わる」へ　～相手のココロを動かすコミュニケーション術～ 参加者数:148名	A	出席者数が148人で、目標値を上回ったため。 　固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	A	毎年度、目標を達成することができ、住民の意識向上に寄与できていると考える。	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数（人）	100	100	100	100						
			135	188	278	148		2				

事業番号	事業名 事業内容	指標	3年度 目標値 実績	4年度 目標値 実績	5年度 目標値 実績	6年度 目標値 実績	現状と課題 （令和6年度）	評価 今後の方向性	評価の理由 （令和6年度）	第5次プラン (4年間)の評価	第5次プラン （R3～R6までの4年間） 評価の理由	担当課
6	就労支援講座の開催						「企業と高校の情報交換会」令和6年6月3日（月）開催。 参加企業数64社、参加高校数27校 「湘南合同就職面接会」令和7年1月29日(水)開催。 参加企業数30社、求人件数68件、求人数174名、参加者数97人、採用者数8人、不採用者数96人、説明のみ53人 「寒川町ミニ面接会」令和7年3月4日（火）開催。 参加企業10社、参加者延べ人数14名 関係機関と協力して就労支援講座等を実践することができた。 今後も、関係機関と連携を図り就労支援等をしていく必要がある。	A	就労支援に資する事業を関係機関と連携を図り、実施することができた。 令和5年度との比較においても、以下について増加している。 ①企業と高校の情報交換会では、企業数及び参加校数が増加。 　R5企業数:57社、R6企業数:64社 　R5参加校:23校、R6参加校:27校 ②湘南合同就職面接会では、参加者及び求人件数が増加。 　R5参加者:61人、R6参加者:97人 　R5求人件数:97件、R6求人件数:174件 ③寒川町ミニ面接会では延べ参加者が増加。 　R5延べ参加者:12人、R6延べ参加者:14人	A	目標としている実績を達成しており、なおかつ就労に資する事業を関係機関と連携を図りながら実施することができた。	産業振興課
	県や関係機関と共催し、就労支援のための講座を開催します。	講座の開催回数（回）	3	3	3	3						
			3	3	3	3		2				

施策の内容（２）女性の積極的な社会参画に関する情報提供

事業番号	事業名 事業内容	指標	3年度目標値 実績	4年度目標値 実績	5年度目標値 実績	6年度目標値 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
7	男女共同参画に関する講座の情報提供 町内外で開催される、資格取得やスキルアップのための講座について情報提供します。	広報紙、ホームページ等での情報提供回数（回）	4 4	4 4	4 3	4 4	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ケ崎市と連携した講座について情報提供を行った。 〇男女共同参画特別講演会 「仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座～「伝える」から「伝わる」へ ～相手のココロを動かすコミュニケーション術～ 実施期間：2025年（令和7年）2月13日（木）～2025年（令和7年）2月26日（水） 実施場所：YouTubeによる動画配信 〇2市1町広域連携事2件 ・藤沢市 「多様な性ってなんだろう？」～すべての人にとって安心・安全な職場づくり～ ・茅ケ崎市 「育休パパママ復職応援講座」」～仕事と育児を両立する考え方を学ぼう～ 〇かながわ男女共同参画センター 「女性からのDVに苦しむ男性たち」～男性相談の現場からみるDVの現状と課題～	A 2	広報さむかわや町のホームページを活用し、講演会等の情報を提供することができたため。	A	広報紙やホームページを活用し、町外で開催される講座等の情報提供をすることができた。意識改革の機会提供やスキルアップなどの支援に努めることができた。	町民窓口課

施策の内容（２）女性の積極的な社会参画のための情報提供

事業番号	事業名 事業内容	指標	３年度目標値 実績	４年度目標値 実績	５年度目標値 実績	６年度目標値 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
8	求人に関する情報提供 役場ロビーにハローワークの求人検索のための検索端末等を設置し、情報提供に努めます。また、合同面接会等でも求人情報を提供します。	湘南合同就職面接会で求人情報を提供できた企業数（社）	30 16	30 24	30 30	30 30	ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ケ崎市と合同で湘南合同就職面接会を開催した。 ・日時：令和7年1月29日（水） ・場所：藤沢商工会館ミナパーク 参加企業数30社、求人件数68件、求人数174名、参加者数97人、採用者数8人、不採用者数96人、説明のみ53人 総数97人（男61人・女36人） 寒川町ミニ面接会 ・日時：令和6年3月4日（火） ・場所：町民センター 参加企業10社、参加者延べ人数14名 パソコンの利用件数（本庁舎1階） 11件	A 2	指標としている湘南合同就職面接会の企業数について、目標値に対して達成をした。 湘南合同就職面接会以外にも、寒川町ミニ面接会を開催し、就労支援に資する取り組みを実施した。	B	令和3年度から令和6年度までの平均実績においては、目標値の8割を超え、また、湘南合同就職面接会以外にも令和5年度からはミニ面接会を実施した。	産業振興課

【基本目標Ⅰ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅰ】あらゆる分野での女性の活躍推進 ＜各事業について＞ 〇事業番号７：男女共同参画に関する講座の情報提供 ・藤沢市、茅ヶ崎市と連携することで多種多様な講座が受講可能になり、動画配信により、受講し易くなった。また、広報誌やHPを活用し、情報を得ることが出来、受講者の立場から考えると、大変評価出来る。 〇事業番号４・５：女性の活躍のための講座の開催 ・講座をyoutubeで配信することによって、自分の好きな時間・タイミングで参加することができるため、参加しやすくなっていてとてもよいと思う。 ・講座の参加人数は、目標値100人を上回り評価できます。会議の場でもありましたが、一定期間、動画配信されて、参加者が時間を選べて参加できるようにされたのが参加人数増の要因のようです。また、周知も引き続き、広く行なわれて、より多くの方が参加されるようお願いします。 ＜総評について＞ ・今後も講座の種類や内容を増やす事や、就労支援など女性の社会参画が進むよう取組を継続して頂きたい。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・講座の開催等、女性の活躍推進に向け、引き続き関係機関と連携されて、取組を進められてください。 ・具体的な数値や現状の数値が示されていて定量的に進捗を確認できるのが良いと感じました。 ・管理職における女性の割合の進捗や、町、議会などの女性委員の割合向上、女性の活躍推進講座の実施など多方面からのアプローチが良いと思います。 ・頻度の低い対策は短期的な評価が難しいので、その点も踏まえた評価基準の見直しも検討できるのではないかと感じました。
【基本目標Ⅰ】 推進協議会評価 （事務局案）	〇事業番号４・５：女性の活躍のための講座の開催 ・講座をYouTubeで配信することで、受講者は自分の好きな時間やタイミングで参加できるようになり、非常に参加しやすくなっていることは評価できる。 ・講座の参加人数が目標の100人を上回ったことは評価できる。 ・動画配信を一定期間行い、参加者が自由な時間に参加できるようにしたことが、参加者数の増加に寄与したと思われる。 ・今後も広報活動を引き続き行い、さらに多くの方に参加していただけるよう取り組んでいただきたい。 〇事業番号７：男女共同参画に関する講座の情報提供 ・藤沢市と茅ヶ崎市の連携により、多様な講座が受講できるようになり、動画配信で受講しやすくなったことは評価できる。 ・広報誌やHPを活用し、情報を得ることができ、受講者の立場から考えると大変評価できる。 ＜総評について＞ 今後も講座の種類や内容を増やし、就労支援など女性の社会参画を進める取り組みを継続していただきたい。全体的に目標は概ね達成できており、特に関係機関との連携を強化し取り組んでいただきたい。管理職における女性の割合を増やすことや、町や議会での女性委員を増やすこと、さらに活躍推進講座の実施など、さまざまな方法を進めていただきたい。頻度が低い対策は短期的に評価するのが難しいため、評価基準の見直しを検討していただきたい。

<基本目標Ⅱ　男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶>

施策の基本的方向　１．異性に対する暴力防止の対策
施策の内容（１）配偶者などからの暴力防止に関する意識啓発と被害者への支援

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
9	暴力防止に関する意識啓発 広報紙等を通じてＤＶに関する情報発信を行い、暴力防止に関する意識啓発を行います。	啓発回数（回）	4 / 4	4 / 4	4 / 4	4 / 4	・引き続きホームページへの掲載を行った。 ・2市1町広域連携事業において、デートDVの防止に向けた啓発チラシを作成し、寒川高校へ配付、公共機関での配架を行った。（チラシ1，000部） ・窓口や公共施設のトイレにチラシ等を置き、相談窓口の情報提供を行った。 ・新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。（令和3年8月2日～）生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。 ・今後も様々な機会を捉え、情報提供を行っていけるよう検討していく。	A / 2	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配付時に女性相談等に関するチラシを配付することで、周知を図ることができたため。	A	継続的に様々な機会を捉え、大人だけではなく、高校生など若年層への啓発もできているため。	町民窓口課

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
10	ＤＶ等に関する相談や関係機関との連携 関係機関と連携しながらＤＶ等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、ＤＶ被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換機会回数（回）	12 / 12	12 / 12	12 / 12	12 / 12	・関係機関との連絡会議（12月）1回 ・関係機関との定期的な情報交換11回 町で相談を受けた際は、平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所と連携を取り、相談にあたっている。また、平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁される場合など連絡を取り合って対応している。今後も適宜、情報提供できるよう努めていく。 町のDV相談受付件数：4件	A / 2	平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所と定期的に情報交換を行うなど、スムーズな連携が取れているため。	A	平塚保健福祉事務所茅ケ崎支所と連携が取れており、相談者への対応をスムーズに行うことができたため。	町民窓口課

施策の内容（２）各種ハラスメント防止対策の推進

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	区分	３年度	４年度	５年度	６年度	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
11	町役場における各種ハラスメント防止体制の充実 町職員間における各種ハラスメントの根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや周知を行い、相談体制の充実を図ります。	庁内での啓発回数（回）	目標値	1	1	1	1	部長･課長級職員を対象に、ハラスメント防止も目的とした｢コミュニケーションスキルアップ｣研修を実施した。 信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得し、町職員間の認識のズレによって生じるハラスメントを防止するとともに、働きやすい環境づくりに役立てる手法を学んだ。 研修名:｢コミュニケーションスキルアップ研修｣ 研修日時:令和7年2月19日 参加人数:45名	A	啓発や研修により、ハラスメントが発生しないような職場環境づくりに努め、目標を達成したことから標記の評価とした。	A	啓発や研修により、ハラスメントが発生しないような職場環境づくりに努めたほか、各種ハラスメントが発生した際に人事課への相談体制を充実させるため、令和6年度から従来通り電話等の職員相談受付のほか、イントラネット上にあるWebリンクから職員相談受付を行えるようにし、相談体制の充実を図ったため、標記の評価とした。	人事課
			実績	1	1	1	1		2				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
12	各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供 広報紙などを活用し、各種ハラスメント防止に関する啓発や関係機関における各種相談窓口の情報提供を行います。	啓発回数（回）	目標値	2	2	2	2	引き続きホームページへの掲載を行い、相談窓口の情報提供を行った。 引き続き、より有意義な情報提供をどのように実施していくのかを検討していく。 また、引き続き、様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。（令和3年８月２日～）生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配付時に女性相談等に関するチラシを配付することで、周知を図ることができたため。	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配付時に女性相談等に関するチラシを配付することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課
			実績	2	2	2	2		2				

施策の基本的方向　2. 人権尊重のための対策

施策の内容（1）人権侵害防止のための支援

事業番号	事業名／事業内容	指標	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題（令和6年度）	評価／今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
13	各種相談の実施や人権に関する情報提供 人権相談など各種相談を実施し、関係機関との連携を図ります。また、人権に関する様々な情報提供を行うとともに、街頭での啓発活動などを通じて町民への意識啓発を行います。	街頭での人権啓発活動回数（回）	目標値	4	4	4	4	人権擁護委員の日にちなみ、6月3日にJR寒川駅改札前において、11月に産業まつりにおいて、12月に町内スーパーマーケット2か所において人権に関する啓発活動を実施した。	A	目標どおり啓発活動を4回実施することができ、町民への人権意識の啓発を図ることができた。	B	令和3年度、4年度はコロナウイルス感染症の影響で目標に達しなかったが、令和5年度からは継続的に啓発活動ができた。	町民窓口課
			実績	0	1	4	4		2				

施策の基本的方向　３．生涯を通じた心身の健康づくりの充実

施策の内容（１）男女の心とからだの健康づくりへの支援

事業番号	事業名／事業内容	指標	区分	３年度	４年度	５年度	６年度	現状と課題（令和6年度）	評価／今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
14	健康運動ボランティア地域活動支援 地域の実情やライフステージに合わせた健康づくりとして、町民が自主的に健康づくりや生活習慣病予防や健康維持・増進に取り組む機会の場を提供することで、健康づくりにおいて重要な要素となる町民のつながりの維持を図ります。	健康運動ボランティア地域活動実施回数（回）	目標値	45	45	45	45	現状（実績） ①健康づくり体操の日 4/4、4/11、5/2、5/16、6/6、6/26、7/4、7/18、8/8、8/22、9/4、9/12、10/9、10/17、11/7、11/21、12/4、12/18、1/9、1/23、2/6、2/12、3/6、3/19　計24回開催。 延べ住民参加人数女性：1,168人、男性：253人参加 ②出前講座 老人ホームファミーユ湘南での健康体操：年10回 自治会等からの依頼：13件。延べ参加人数：786人（男女内訳なし） ③町事業等での協力 食育ひろば6/9、ボランティア体験会7/30、レクフェス9/8、アルツハイマーデー9/14、ふれあい福祉フェスティバル10/6、計6件 課題 健康づくり体操の日（①）に関して、男性の参加率が17.8%と依然として低い結果となった（令和5年の参加率17.2%）。	A	健康づくり体操の日（①）に関して、全体の参加者数の増加もあり男性参加率は昨年と比較して横ばいだったが、男性参加者数は昨年より55名増加した。事業参加を通じて参加者同士が交流する様子も見られ、町民同士のつながりの維持に寄与していると考えられる。事業について知らない町民もいるため、引き続き男性を含めた町民に健康維持・増進の場として活用してもらえるよう周知を行っていく。	A	新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や実施方法の変更を行い、事業実施数及び参加者数が減少していたが、令和5年度以降は事業実施数を増加させることができた。	健康づくり課
			実績	0	45	51	53		1				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
15	公民館講座（健康づくり講座）の開催		3	3	3	3	【町民センター】 ●親子体操教室:9/29、21人参加 ●健康講座:10/6、19人参加 ●シニア男性体操教室:2/20、12人参加 【北部公民館】 ●子ども卓球教室:4/23、7/30、8/6、8/20、延べ71人参加 ●バドミントン教室:9/21、9/28、10/5、10/19、10/26、11/9、延べ21人参加 ●薬膳ヨガ:1/26、21人参加 【南部公民館】 ●脳と身体の健康リトミック体験教室①:4/10、4/17, 4/24、53人参加 ●脳と身体の健康リトミック体験教室②:1/8、1/15、1/22、48人参加 ●超かんたんセルフ腸もみダイエット:5/12、15人参加	A	計画どおり、公民館事業で健康に関する講座として多くの機会を提供することができた。	A	全ての年度において目標値を上回る講座の開催回数となり、多くの町民に健康に対する意識付けを図る機会を提供することができた。	教育政策課
	公民館講座を通じて健康に対する意識付けを図るなど、町民の健康づくりを支援します。	講座の開催回数（回）	8	17	29	21		2				

施策の内容（２）性に関する正しい知識と普及啓発

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
16	新成人への健康教育の実施		1	1	1	1	事業実施無し	D	事業実施無し	C	令和4年度のみの実施のため。 また、令和6年度以降は事業の廃止を検討。	健康づくり課
	新成人へのパンフレット配布による健康教育を実施します。	小冊子の配布回数（回）	0	1	0	0		4				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
17	豊かな心・文化育成事業		10	10	10	10	町内小・中学校において、学習指導要領に基づいて、保健体育科や特別の教科　道徳科などの各教科、総合的な学習の時間等を通じて、性に関する内容を取り扱い、適切に指導を図った。 性教育に関しては、正確な理解を通して適切な行動に結びつくことから、今後も子どもの発達段階に応じて、教育活動の機会を捉えて適宜指導することが必要である。 また、「多様な性」について理解する必要がある。	A	町立小・中学校において、子どもたちの発達段階や実態に応じて性教育に関する指導を行った。特にデリケートな内容については、男女を分けて指導したり、養護教諭等と連携して対応したりすることにより、個の事情に応じた指導につなげている。 また、各学校においては、外部の人材を招き、「性の多様性」や「生命」に関わる授業を行った。	A	児童・生徒を取り巻く社会環境の急速な変化を捉え、実態に応じた教育活動を実施することができた。 また、教職員研修会において「人権教育」、「性の多様性」や「SNS」を演題に教職員の学ぶ機会を設けた。	学校教育課
	教科や道徳の時間、総合的な学習の時間等を通して、性教育を推進します。	性教育実施時間数（時間）	10	10	10	10		2				

【基本目標Ⅱ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅱ】男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶 ＜各事業について＞ 〇事業番号9：暴力防止に関する意識啓発 ・啓発チラシを寒川高校へ配布する取り組みは良い。配布したチラシを配布する際、簡単に内容を説明してもらうことはできないものか。 〇事業番号14：健康運動ボランティア地域活動支援 ・参加者も増加し、交流もできている様子でとても評価できる。さらに男性の参加者がより増加すると良い。男性に情報が届くよう検討して頂きたい。 〇事業番号16：新成人への健康教育の実施 ・会議の場でもありましたが、実行委員会の取組のとおり、小冊子の紙での配布の廃止は資源、費用の節約になり、また、電子化での情報提供も評価できます。 〇事業番号17：豊かな心・文化育成事業 ・「多様な性」を理解していく上で、発達段階や実態に応じた指導、個の事情に応じた指導等に繋げている点が大変評価出来る。 ・また教職員に対しての研修が非常に重要である為、機会が設けられることは大変評価出来る。 ・子どもたちもそうだが、授業をする先生たちにも研修をしていただけたらよりよい取り組みになると思う。 〇ＤＶ防止のための講座・啓発活動 ・ＤＶや性暴力に関する理解を深めるための講座が実施されており、参加者の関心も高まってきていると思われます。引き続き周知方法を工夫し、より多くの住民の方々に参加してもらうことが課題かと思われます。 〇「相談窓口の設置と周知」 ・被害者が安心して相談できる環境が整備されつつあります。町内外の関係機関との連携も進んでおり、支援体制がより強化されていると思います。引き続き支援体制の拡大を切に思います。 ＜総評について＞ ・ＤＶやハラスメントについて高校生や若年層への啓発は先を見据えると重要な事である。 ・また先を見据えた健康づくりを考えるという点では、健康運動ボランティア活動や各種講座の参加者が多いので、とても良いと思う。 ・デリケートな相談を関係機関と連携している事は重要で評価できる。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・実際に町民がどの程度のアクセス・閲覧しているのか分析やアンケートを実施することで効果の測定と改善点の把握ができるのでは… ・ＤＶやハラスメントは大人だけでなく若い世代から意識を育てることが重要で学校やＳＮＳを活用した発信方法を取り入れていくことは効果的だと思います。 ・全体として、男女の人権尊重や暴力根絶に向けた取組は着実に進んでいると思われます。 引き続き、学校教育や地域活動を通じて啓発を強化し、若年層からの理解促進を図ることが必要かと思われます。 行政、警察、専門機関との連携をさらに強め、被害者が孤立しない体制を維持・発展させていくことが望ましいかと思います。
【基本目標Ⅱ】 推進協議会評価 （事務局案）	〇事業番号14：健康運動ボランティア地域活動支援 参加者が増加し、交流もできていることは非常に評価できるが、さらに男性の参加者が増えることが望ましいため、男性に情報が届くよう検討していただきたい。 〇事業番号16：新成人への健康教育の実施 実行委員会の取り組みのとおり、小冊子の紙での配布を廃止することで資源と費用の節約になり、また電子化での情報提供も評価できるため、今後もその方向性を進めていただきたい。 〇事業番号17：豊かな心・文化育成事業 「多様な性」を理解していく上で、発達段階や実態に応じた指導、個の事情に応じた指導に繋げている点は大変評価できる。また、教職員に対しての研修が非常に重要であるため、機会が設けられることも大いに評価できる。 ＜総評について＞ ＤＶやハラスメントに関する啓発は高校生や若年層にとって重要であり、健康運動ボランティア活動や各種講座への参加者の多さも評価できる。関係機関との連携によるデリケートな相談の重要性も認識されており、目標は概ね達成されている。若い世代の意識を育てるために、学校やSNSを活用した発信が効果的である。男女の人権尊重や暴力根絶に向けた取り組みは進展しており、今後も学校教育や地域活動を通じて啓発を強化し、若年層の理解を促進していただきたい。また、行政、警察、専門機関との連携を一層強め、被害者が孤立しない体制を維持・発展させていただきたい。

＜基本目標Ⅲ　仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり＞

施策の基本的方向　１．誰もが働きやすい就業環境づくり

施策の内容（１）ワーク・ライフ・バランスについての理解促進

事業番号	事業名 / 事業内容	指標		３年度	４年度	５年度	６年度	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
18	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発 国や県からのチラシ・パンフレットを町内事業所に対して配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数（回）	目標値	3	3	3	3	県等から提供された情報をホームページ等による周知により、町内事業者に対する啓発を図った。	A	ホームページ等による周知を行うことで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	A	県等から提供された情報をホームページ等で周知を図り、目標を達成した。引き続き制度等の普及啓発に努める。	産業振興課
			実績	3	3	3	3		2				

施策の内容（２）女性の就業・雇用環境改善のための支援の充実

事業番号	事業名 / 事業内容	指標		３年度	４年度	５年度	６年度	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
19	労働相談に関する情報提供 広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。また、関係機関と協力し労働者向けに労働に関する相談会を実施します。※雇用情勢により実施しない場合もあります。	広報紙・ホームページ等での情報提供回数（回）	目標値	3	3	3	3	・県や各関係機関が実施する各事業や相談先について、町HPで情報提供を行った。	A	県等の労働者相談先についての情報提供及び、女性キャリアカウンセリング等の情報提供を窓口で行い、目標を達成した。	A	相談先の情報提供や、労働者に対する情報提供を行い、目標を達成した。引き続き関係機関とも連携を図りながら、情報提供を行っていく。	産業振興課
			実績	6	5	5	5		2				

事業番号	事業名		3年度目標値	4年度目標値	5年度目標値	6年度目標値	現状と課題（令和6年度）	評価	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性				
20	労働講座の開催		1	1	1	1	労政問題懇話会との共催で労働講座を開催した。 日時：令和7年2月19日（水）18:30～20:00 場所：町民センター視聴覚室 テーマ：”資産形成セミナー” 「知って得するNISA・iDeCoの魅力」～新NISAの活用・iDeCoの改正について～ 講師：中央労働金庫茅ケ崎支店職員 参加者数：37名	A	関係機関と連携し、勤労者のための労働講座を実施。	B	令和3年度はコロナ禍のため労働講座の開催ができなかったが、開催再開後は目標値を達成できた。	産業振興課
	関係機関と協力し、労働環境の改善に関する講座を開催します。	開催回数（回）	0	1	1	1		2				

施策の内容（３）育児・介護に関する制度の理解と普及の促進

事業番号	事業名		3年度目標値	4年度目標値	5年度目標値	6年度目標値	現状と課題（令和6年度）	評価	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性				
21	育児休業取得の促進		100	100	100	100	配偶者が出産した男性職員：9名 育児休業を取得した男性職員：8名(取得日数：302日、76日、30日、78日、28日、208日、189日、92日、26日) なお、配偶者が出産した男性職員9名の特別休暇の取得状況は次のとおり。 出産付添いの特別休暇(3日以内)：8名(各2～3日) 育児参加のための休暇(5日以内)：8名(各1～5日)	B	対象となる職員に対して育児に伴う休暇休業について制度周知を図ったものの、目標には未達であったことから標記の評価とした。	B	男性職員の育児休業取得率を100%とすることは出来なかったが、相談体制の充実を図り、相談のあった職員に対して育児休業等の制度周知を図り、育児休業を取得しやすい支援を行うことができたため標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに育児休業を取得しやすい環境を整備し、子育ての支援を図ります。	男性職員の育児休業取得率（%）	31	80	71	89		2				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	3年度 目標値 / 実績	4年度 目標値 / 実績	5年度 目標値 / 実績	6年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
22	介護休業取得の促進		1	1	1	1	家族の介護等を行う職員からの制度等の相談について制度周知を図るとともに、詳細について説明を行っている。	A	対象となる職員に対して介護に伴う休暇休業についての制度の周知を図り、目標を達成したことから標記の評価とした。	A	各年度とも、対象となる職員に対して介護に伴う休暇休業についての制度の周知を図り、対象職員への介護支援を行うことが出来たため標記の評価とした。	人事課
	町職員が男女ともに介護休業を取得しやすい環境を整備し、介護への支援を図ります。	庁内での啓発回数（回）	1	1	1	1		2				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	3年度 目標値 / 実績	4年度 目標値 / 実績	5年度 目標値 / 実績	6年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
23	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発（再掲）		3	3	3	3	県等から提供された情報をホームページ等による周知により、町内事業者に対する啓発を図った。	A	ホームページ等による周知を行うことで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	A	県等から提供された情報をホームページ等で周知を図り、目標を達成した。引き続き制度等の普及啓発に努める。	産業振興課
	国や県からチラシ・パンフレットを町内事業所に対し配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数（回）	3	3	3	3		2				

施策の基本的方向　２．仕事と家庭・地域活動との両立の支援
施策の内容（１）子育て・ひとり親家庭への支援

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
24	保育環境充実事業	定員に対する入所率（%）	120	120	120	120	認可保育所等に通常保育事業の実施を委託し、併せて事業に対して助成を行った。 令和7年4月に幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行を希望している施設に対し、2か年目の施設整備に対する補助金を交付することで支援を行い、令和7年度に向けて定員増を図った。	B	既存の認可保育所が面積要件や保育士配置基準を満たしたうえで、定員以上の受入をしている。 保育の必要性のある児童を認可保育所等において保育することで保護者の就労支援を行うことができたが、目標値を達成することはできなかった。	B	期間中に面積要件や保育士配置基準を満たしたうえで、全体では定員以上の受入ができている。施設ごとに見ると、定員を満たしていない施設もあり、通いやすい施設等希望園が集中する傾向にあったため、目標値を達成することはできなかった。	保育幼稚園課
	認可保育所や認可外保育施設、私立幼稚園に給付費や補助金を支出することにより、保育所の設備及び運営基準の維持、事業の充実を図ります。		101	107	107	106		3				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
25	子育て支援相談事業	相談への対応率（%）	100	100	100	100	相談日：月から金　9:00～17:00 相談件数794件 課題等：育児不安を抱える家庭は増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り、複雑化・長期化の傾向がある。	A	他機関との連携を含む継続フォローや支援等、悩みを抱える子育て家庭へのサポートを行い、養育者の負担軽減を図った。 相談に対しては、全数対応できた。	A	5年間、子育て支援相談件数は年々増加している。要因としては新型コロナウィルスが5類に分類されて以降の対面相談の機会の増加、子どもの面前でのDVや、ひとり親に関する相談の増加等が考えられる。令和6年度からは子育て相談支援員も増員し相談には全数対応できたが、複雑で多岐に渡る課題を持ち合わせる家庭が多く、相談支援も長期化していることが課題である。今後も継続した取り組みが必要である。	子育て支援課
	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。		100	100	100	100		2				

事業番号	事業名	事業内容	指標		３年度	４年度	５年度	６年度	現状と課題（令和6年度）	評価／今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
26	児童クラブ運営事業	保護者が労働等により放課後等家庭にいない児童に、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進します。	入所児童数（人）	目標値	270	301	309	315	開所日288日 自宅で保育を受けることができない児童を受け入れることにより、保護者の就労や女性の社会進出を支援する。各児童クラブの運営負担を軽減するため寒川学童保育会に一括して運営委託を行った。	B	保護者が労働等により昼間、家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全な育成を図ることができた。	B	期間中に自宅で保育を受けることができない児童を児童クラブで受け入れることで、保護者の就労や女性の社会進出を支援することができた。事業の指標である入所児童数は年々増えているものの各年度の目標値を達成することはできなかった。	学び推進課
				実績	247	266	265	313		2				

事業番号	事業名	事業内容	指標		３年度	４年度	５年度	６年度	現状と課題（令和6年度）	評価／今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
27	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等の人が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自己負担額を助成します（所得制限有り）。	助成率（%）	目標値	100	100	100	100	ひとり親家庭等医療費助成事業の該当者に対し、窓口等において周知するとともに、助成対象者に対する助成を実施した。 R6助成対象者数：801人 （参考） 児童扶養手当非受給世帯及び人数 R2　：17世帯（38人） R3　：17世帯（39人） R4　：18世帯（40人） R5　：22世帯（49人） R6　：18世帯（42人）	A	離婚や死亡、転入転居等の手続きの機会に窓口や電話で説明・周知を行っている。その後の世帯や所得の状況の変化により申請しないケースがあると思われるが、該当者への周知や助成対象者への助成は実施できている。	A	ひとり親家庭等の医療費負担を軽減することで、ひとり親家庭等の健康と生活の安定を支えることができた。ひとり親家庭等が安心して医療を受けられる体制を維持するため、今後も同様に事業を継続する。	子育て支援課
				実績	100	100	100	100		2				

施策の内容（２）男性の家事・育児・介護などへの参加の促進

事業番号	事業名 事業内容	指標	３年度 目標値 実績	４年度 目標値 実績	５年度 目標値 実績	６年度 目標値 実績	現状と課題 （令和6年度）	評価 今後の方向性	評価の理由 （令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
28	父親・母親教室の開催 妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女が協力して家事や育児を行うことについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度（%）	100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。延べ妊婦151人　夫79人参加。各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ88.2%であった。 参加延べ人数（妊婦+夫）に対する夫（パートナー）の割合は年々増加し、H29年度23．8%であったが、R6年度34.3%となっている。 平日3日間の夫（パートナー）のべ参加数は34名で昨年度から増加している。	B	コロナ感染症は5類になったが、感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた。 平日の妊婦の夫参加数も年々増加しており、全日程で、妊婦の夫に対しても育児参加の重要性を説明している。 　満足度は上昇しているが100%には至っていない。アンケートにて改善点を問うているが明確な理由が示されない場合や個人的理由が記載されている場合もあった。	B	コロナ禍においては、沐浴や産前に必要な知識を動画配信し、妊婦とその夫が共に出産を迎える準備ができるよう工夫した。また、感染予防対策を実施し、少人数で入れ替え制の父親・母親教室を開催する等両親揃って育児に参加することの意識啓発に努めた。 　コロナ感染症5類移行後の父親・母親教室の妊婦の夫参加割合は増加が続いており、教室満足度調査の結果、妊婦の夫はR3年度の93.8%から上昇しR5年度は96.7%、R6年度は100%となっている。 　しかし、満足度をパーセンテージで評価した場合、個人的理由や相対的評価で100%に至らない場合も存在すると予想され、今後は評価方法の見直しが必要と考えられる。	子育て支援課
			94	97	96	99		3				

事業番号	事業名 事業内容	指標	３年度 目標値 実績	４年度 目標値 実績	５年度 目標値 実績	６年度 目標値 実績	現状と課題 （令和6年度）	評価 今後の方向性	評価の理由 （令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
29	母子訪問指導事業 乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。	母子訪問合計件数（件）	1,000	1,000	1,000	1,000	出生数は減少しているが、母子保健担当保健師の増員により訪問件数は昨年より増加した。 新生児・乳児期の訪問時、育児休業中の父親が訪問に同席する場合もあり、両親に向けた育児支援を実施している。	A	母子健康手帳交付時に父向けのリーフレットを配布し、父親の育児参加を促している。産後の訪問についても妊娠中や出産後に父親に直接周知することで、受け入れも良好である。 　訪問時には、男性の育児参加への意識啓発も実施できていることから評価はAとした。	A	新型コロナウィルスが5類に分類されて以降、家庭訪問の受け入れは、より良好となり育児休業中の父親の同席も散見されている。父親からも質問を受ける等積極的な育児介入の姿勢も見受けられ、両親に対する育児技術、知識の提供を実施している。 　産後の母親のみならず父親も含めた健康課題の解決に努めると共に、今後も継続し両親への育児支援を実施していく。	子育て支援課
			1,443	1,317	1,186	1,271		2				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
30	介護教室の開催 介護技術・対応方法を習得するための講習会の開催を通じて、男女がともに介護を担うことの意識啓発を図ります。	講座の参加人数（人）	目標値	105	105	105	105	○家族介護教室 1回開催、16名参加（男性3名、女13名）。 介護予防及び終末期について、男女問わず考えるきっかけとなるような内容を展開。 今後も取り上げるべきテーマやトピックを充分検討のうえ開催予定。 ○認知症高齢者介護教室（認知症サポーターステップアップ講座） 住民向けの講座を4回、町内の企業向けの講座を1回実施し、合計72名（男性18名、女54名）の参加があった。次年度も継続的に講座を開催し、認知症になっても過ごしやすい町づくりを目指す。	B	○家族介護教室 前年に続くテーマとして開催ができたため。 ○認知症高齢者介護教室（認知症サポーターステップアップ講座） 認知症サポーター養成講座を終了した方向けの講座であり、グループワークを実施することで参加者が主体的に認知症の方の気持ちとかかわり方について考えられる教室になっているため。	A	○家族介護教室 昨今、その重要性が示されているACP関連をテーマにした講座を検討し、開催出来たことは次期の取り組みの充実に繋がるものと考えられる。 ○認知症高齢者介護教室（認知症 サポーターステップアップ講座） 令和3年度のみ目標値を達成できなかったが、令和4年度以降は、目標値を達成できた。	高齢介護課
			実績	61	172	121	88		2				

施策の内容（３）地域活動への参加の促進

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	区分	３年度	４年度	５年度	６年度	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
31	公民館講座（男性向け講座）の開催 公民館講座を通じて、男性の地域活動への参加に対する意識づけを促進します。	講座の開催回数（回）	目標値	3	3	3	3	【町民センター】 ●初心者メンズ・パン作り講座：11/29、10人参加 ●シニア男性体操教室：2/20、12人参加 【北部公民館】 ●メンズクッキング教室：2/16、13人参加	A	昨年度の実績をふまえ、男性に特化した講座の開催回数を増やすことで、男性の地域活動への参加に対する意識づけを促進した。	A	目標値を達成できなかった年度もあるが、令和6年度は昨年度までの実績も踏まえ、男性に特化した講座の開催回数を増やしたことで、目標値を達成できたため。	教育政策課
			実績	3	0	1	3		2				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	3年度 目標値 / 実績	4年度 目標値 / 実績	5年度 目標値 / 実績	6年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
32	ファミリーサポートセンター事業		1,720	1,690	1,680	1,660	6年度末の会員数については、おねがい会員660人、まかせて会員119人、どっちも会員129人であった。 課題等：おねがい会員数に対し、まかせて会員数が少ない。引き続きおねがい会員からまかせて会員やどっちも会員に登録していただける会員を増やしていくことや、事業内容の周知に引き続き取り組んでいく必要がある。	A	活動件数は目標値を達成した。 学童保育の迎え、登校前の援助、障がい児(就学前児童)の援助及び送迎による利用が多かった。	A	児童の送迎や援助のニーズは高く、利用件数も堅調であったことから、今後も同様に事業を継続する。 なお、まかせて会員が少ないという課題は依然として残っていることから、お子さんの成長に伴い、おねがい会員からまかせて会員に登録していただけるよう促すとともに、より活動しやすい環境整備を検討していく必要がある。	子育て支援課
	育児の援助を受けたい人と行う人が会員となって一時預かり等の事業を行うことにより、育児世代の地域活動への参加を支援します。	活動件数（件）	2,964	3,030	2,437	2,600		2				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	3年度 目標値 / 実績	4年度 目標値 / 実績	5年度 目標値 / 実績	6年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
33	生涯学習に関する情報提供		6	6	6	6	男女を問わず、生涯学習に関する情報を提供した。 1.2.さむかわ町民大学（年2回発行） 各200部発行 3.出前講座 4.5.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」メニュー紹介用/登録者募集用 6.さむかわ生涯学習総合案内 各200部発行 【参考】町ホームページ関連ページのページビュー数は705件	A	パンフレットや情報紙を発行し、町内各施設に配架するとともに、町ホームページにおいても掲載することで、幅広い世代に対して生涯学習に関する情報提供を行うことができた。課題としては、より多くの人に情報が届くよう、学習情報の効果的な周知や表現方法を検討していく必要がある。	A	チラシやホームページをとおして、生涯学習情報を周知することで、男女問わず幅広い世代に学習のきっかけを提供することができた。 特に出前講座については、年々申請数が増えており、制度が町民に浸透していることがわかる。	学び推進課
	さむかわ町民大学、出前講座、生涯学習人材登録等の学習情報を提供し、地域活動への参加を支援します。	広報紙、ホームページ、パンフレットでの啓発回数（回）	6	6	6	6		2				

【基本目標Ⅲ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅲ】仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり ＜各事業について＞ 〇事業番号21：育児休業取得の促進 ・仕事の内容や環境によって育休取得が難しい部署もあるかもしれないが、育休取得できなかった男性職員が居たのは残念だ。その方と奥様の産後の生活を慮ってしまう。今後は是非100%取得となる様望む。 ・令和3年度から比べて取得率が大幅にあがっている。単純に休暇が取れたからよいではなく、残された人へのフォローも含めて対策が必要だと思う。 ・男性職員の育児休業取得率の実績は年々ほぼ上がっていて評価できます。引き続き育児休業等の制度周知を行っていただきたいと思います。 〇事業番号24:保育環境充実事業 ・幼稚園からこども園の移行は、待機児童問題を考える際に必要な対策だと考える。今後とも継続していくことを期待している。 〇ワーク・ライフ・バランス啓発セミナーの開催 ・働き方改革や家庭との両立に関する講座を実施し、企業や町民の関心が高めているかと思われます。参加者からは実生活に役立つとの声もあり、今後も継続的な実施が期待されていると思われます。 〇「企業との連携による取組」 ・町内企業が協力して柔軟な働き方や休暇制度を紹介する取り組みを進めており、ワーク・ライフ・バランスの推進に寄与していると評価できます。 〇「子育て・介護支援に関する情報提供」 ・子育てや介護を担う世代に向けた相談窓口や支援制度の周知が行われており、働く人が安心して家庭生活と両立できる環境づくりが進みつつあるかと思います。 ＜総評について＞ ・全体的には評価出来る。保育園や児童クラブの受入については地域によって難しい所もあるかもしれないが、母親が安心して仕事をする為にも早急な取組をして頂きたい。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・多様な媒体での発信を強化すると、より幅広い層に情報が届くと思います。 ・平日昼間だと参加できない層がでるのでオンライン開催などを増やすと働きながらも参加しやすくなると思います。 ・育児休業取得率や短時間勤務制度など実際に利用した職員や町民の体験談を紹介するのも効果的なのでは… ・全体として、ワーク・ライフ・バランスに関する理解は少しずつ広がっており、目標に向けた進展が見られます。 一方で、実際に制度を利用しやすい環境づくりや、職場全体の理解醸成が今後の課題かと思います。 引き続き、行政と企業、地域が連携しながら多様な働き方を支援し、誰もが安心して仕事と生活を調和できる社会の実現を目指すことが目標かと思います。お互いに思いやりを持つ事も重視した取り組みも行って欲しく思います。
【基本目標Ⅲ】 推進協議会評価 （事務局案）	＜各事業について＞ 〇事業番号21：育児休業取得の促進 育休取得が難しい部署もあるかもしれないが、今後は100%の取得を目指していただきたい。また、残された職員へのフォローも重要な対策と考える。男性職員の育児休業取得率は年々向上しており、引き続き育児休業制度の周知を進めていただきたい。 〇事業番号24:保育環境充実事業 幼稚園からこども園への移行は、待機児童問題の解決に必要な対策であり、今後も継続していただきたい。 ＜総評について＞ 全体的に評価できるが、保育園や児童クラブの受け入れには地域差があり、母親が安心して働ける環境が求められている。制度の利用しやすい環境を整え、ワーク・ライフ・バランスの理解を深めることが今後の課題である。行政、企業、地域が連携し取り組みを進めていただきたい。

＜基本目標Ⅳ　男女共同参画社会への理解促進＞

施策の基本的方向　１．さまざまな場における意識づくりの推進

施策の内容（１）職場や地域における意識啓発

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	3年度 目標値 / 実績	4年度 目標値 / 実績	5年度 目標値 / 実績	6年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
34	男女共同参画に関する講座の開催		100	100	100	100	神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日：２０２５年（令和７年）２月１３日（木）～２０２５年（令和７年）２月２６日（水） 実施場所：YouTubeによる動画配信 講　師：山本　衣奈子（やまもとえなこ）氏 テーマ：仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座 「伝える」から「伝わる」へ　～相手のココロを動かすコミュニケーション術～ 参加者数：１４８名	A	出席者数が１４８人で、目標値を上回ったため。 固定的性別役割分担を前提とした長時間労働等の慣行を見直し、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会を実現するため、意識改革として男女共同参画講演会や人権等についての講演会を開催することは意義のあることと考える。	A	毎年度、目標を達成することができ、住民の意識向上に寄与できていると考える。	町民窓口課
	事業所向けまたは生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、職場や地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。	講座の参加人数（人）	135	188	278	148		2				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
35	人権教育推進事業		2	2	2	2	【町民センター】 ●人権朗読コンサート「僕たちのこと」：4/20、24人参加 ●参加体験型学習「平和って？平和じゃないって？」11/30、6人参加 【総合図書館】 ●みんなの映画会：11/24、19人参加	A	計画どおり、人権に関わるテーマとした講座を公民館、図書館事業として提供することができた。	A	全ての年度において目標値を達成することができ、町民に対して人権に関わるテーマについて、意識付けを図る機会を提供することができた。	教育政策課
	人権教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数（回）	2	3	2	3		2				

施策の内容（２）家庭における意識啓発

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
36	父親・母親教室の開催（再掲）		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。延べ妊婦151人　夫79人参加。各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ88.2%であった。 参加延べ人数（妊婦+夫）に対する夫（パートナー）の割合は年々増加し、H29年度23．8%であったが、R6年度34.3%となっている。 平日3日間の夫（パートナー）のべ参加数は34名で昨年度から増加している。	B	コロナ感染症は5類になったが、感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた。 平日の妊婦の夫参加数も年々増加しており、全日程で、妊婦の夫に対しても育児参加の重要性を説明している。 　満足度は上昇しているが100%には至っていない。アンケートにて改善点を問うているが明確な理由が示されない場合や個人的理由が記載されている場合もあった。	B	コロナ禍においては、沐浴や産前に必要な知識を動画配信し、妊婦とその夫が共に出産を迎える準備ができるよう工夫した。また、感染予防対策を実施し、少人数で入れ替え制の父親・母親教室を開催する等両親揃って育児に参加することの意識啓発に努めた。 　コロナ感染症5類移行後の父親・母親教室の妊婦の夫参加割合は増加が続いており、教室満足度調査の結果、妊婦の夫はR3年度の93.8%から上昇しR5年度は96.7%、R6年度は100%となっている。 　しかし、満足度をパーセンテージで評価した場合、個人的理由や相対的評価で100%に至らない場合も存在すると予想され、今後は評価方法の見直しが必要と考えられる。	子育て支援課
	初妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度（%）	94	97	96	99		3				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
37	家庭教育講座等開催事業		4	4	4	4	【町民センター】 ●親子でプログラミングレゴロボット講座：4/20午前午後（2回）、延べ50人参加 ●文化講演会公開講座「子どもたちの生きる力を育てる」：9/15、200人参加 ●親子体操教室：9/29、21人参加 ●ママとベビーのふれあい体操：11/6、11/21、延べ18人 ●親子工作教室：2/22、13人 ●星空観察会：1/25、55人 【北部公民館】 ●バルーンで遊ぼうwithおはなし図書館：12/22、8人 ●おはなし図書館：4/6、10/5、2/1、3/1、延べ9人 ●親子でホタル観察会：6/1、36人 ●夏休みおはなし図書館：4/23、8/6、8/27、延べ41人 ●北部ハロウィン：10/26、43人 【南部公民館】 ●おはなし広場幼児：4～3月（12回）、延べ197人参加 ●親子でクラフト教室：4～3月（12回）、延べ207人参加 ●親子ミニ運動会：7/28、28人 ●親子寄せ植え教室：10/26、18人 ●親子でリトミック教室：11/6午前午後、11/13午前午後（4回）、延べ91人参加 ●クリスマスひろば、12/15、74人 【総合図書館】 ●おひざにだっこのおはなし会、4～3月（23回）、延べ106組参加 ●出張わらべうた会、6/27、10/10、2/13、延べ44組参加	A	子育て家庭を支援するため、親子参加型の講座・イベント等を実施することで、家庭教育の機会を提供することができた。	A	令和4年度からは目標値を大幅に上回る開催回数となったことで、多くの町民に家庭教育の機会を提供することができたとともに、親子が地域とのつながりを持つきっかけを与えることができた。	教育政策課
	家庭教育講座等を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数（回）	5	60	71	75		2				

施策の内容（３）学校等における意識啓発

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	３年度 目標値 / 実績	４年度 目標値 / 実績	５年度 目標値 / 実績	６年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
38	教職員の資質向上事業		230	230	230	230	教職員研修会(5/1,5/28,7/31,8/26(全4回, 277名)及び教育講演会(7/23 71名)において、人権感覚や男女共同参画に配慮した指導や教育課題に向けての研修を行い、教職員の意識を高めた。 ・研修会、教育講演会参加者の男女比は3:5であった。	A	性的マイノリティや児童・生徒の自己肯定感向上をはじめ、教職員や社会のニーズに応じた研修を実施することができた。今後も教職員の意識啓発していくため、教育現場や社会情勢を踏まえた研修を設計していく必要がある。	A	コロナ禍においては対面での研修の機会が限定されていたが、講師と受講者、受講者同士で意識の向上を図るため、対面での研修を基本としている。教育現場のニーズに応えることで研修に複数回参加する教職員が増えており、全体数の増加につながっている。	学校教育課
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権を配慮した教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数（人）	56	246	313	348		2				

事業番号	事業名 / 事業内容	指標	3年度 目標値 / 実績	4年度 目標値 / 実績	5年度 目標値 / 実績	6年度 目標値 / 実績	現状と課題（令和6年度）	評価 / 今後の方向性	評価の理由（令和6年度）	第5次プラン（4年間）の評価	第5次プラン（R3～R6までの4年間）評価の理由	担当課
39	中学生人権作文コンテストの実施		150	150	150	150	人権作文コンテストについては、夏休みの宿題で選択制となっている。 そのため、増減数については予想することが難しいが、令和6年度に募集を行った結果、148名の応募があった。	B	目標を達成することができなかった。 次年度も教頭会等で人権作文コンテストの周知を図っていく。	B	目標を達成できなかった年もあるため。	町民窓口課
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数（人）	99	295	83	148		2				

【基本目標Ⅳ】 推進協議会評価 （個別）	【基本目標Ⅳ】男女共同参画社会への理解促進 ＜各事業について＞ 〇事業番号35:女性の活躍のための講座の開催 ・講座をyoutubeで配信することによって、自分の好きな時間・タイミングで参加することができるため、参加しやすくなっていてとてもよいと思う。 〇事業番号36：父親・母親教室の開催（再掲） ・夫婦参加の増加は評価出来る。 ・満足度100%となることは難しい事かと思うので、評価方法の見直しを検討しても良いと思う。 〇事業番号37:公民館講座(健康づくり講座)の開催 ・目標値を大きく上回っていえう点は評価できる。よりよい講座開催を目指して、目標のハードルを高めてもよいのかなと思った。 〇事業番号38：教職員の資質向上事業 ・研修に複数回参加する教職員がいる事はそれだけ必要性があるという事で大変評価出来る。 〇事業番号39:中学生人権作文コンテストの実施 ・会議の場でもありましたが、生徒は自分の身近なテーマだと書きやすいとのことで、テーマは幅広く選べるようにして応募者数が増え、より多くの生徒が人権を意識できるよう工夫していただけたらと思います。 〇男女共同参画に関する啓発イベントの開催 ・講演会やパネル展示を通じ、町民に男女共同参画への理解を深めてもらう取り組みが進められている。参加者の意識向上につながればる事を切に願います。 「情報発信の充実」 広報誌やウェブサイトでの情報提供により、多くの人が気軽に学べるように工夫と努力が伝わってきます。特にオンライン活用は効果的であり、今後も継続して頂けると嬉しく思います。 ＜総評について＞ ・各種講座の実施等に継続的な取組をすることで、職場、地域、家庭、学校など様々な場での意識づくりを、今後も進めて頂きたい。 ・全体的に、概ね目標を達成できていると評価できます。 ・地域、家庭、学校等への意識啓発について、引き続き関係機関と連携されて、取組を進められてください。 ・啓発活動の「身近さ」の向上が大切だと思います。 ・自分事として意識されにくいこともあるため、日常生活や職場、地域での具体的な事例を交えた啓発が効果的だと思います。 ・男女共同参画社会に対する住民の理解は少しずつ広がっていると評価できると思います。 ・世代や立場による意識差は依然として存在するため、今後より一層子育て世代や高齢層など多様な層に届く工夫が必要かと思います。 ・行政だけでなく、企業や学校とも協力しながら地域全体で意識改革を進めることが望ましいかと思います。
【基本目標Ⅳ】 推進協議会評価 （事務局案）	＜各事業について＞ 〇事業番号35:女性の活躍のための講座の開催 講座をyoutubeで配信することによって、自分の好きな時間・タイミングで参加することができるため、参加しやすくなっていることは評価できる。 〇事業番号36：父親・母親教室の開催（再掲） 夫婦参加の増加は評価できますが、満足度100%は難しいため、評価方法の見直しも検討していただきたい。 〇事業番号37:公民館講座(健康づくり講座)の開催 目標値を大きく上回っている点は評価できる。より良い講座開催を目指し、目標のハードルを高めることも検討していただきたい。 〇事業番号38：教職員の資質向上事業 研修に複数回参加する教職員がいることは、その必要性が高いことを示しており評価できる。 〇事業番号39:中学生人権作文コンテストの実施 ・生徒が身近なテーマを選べるようにすることで、応募者数が増え、より多くの生徒が人権を意識できるようになると考える。 ＜総評について＞ 各種講座を継続的に実施し、職場や地域、家庭、学校での意識づくりを進めていただきたい。全体的に目標は達成できており、啓発活動については関係機関と連携し、具体的な事例を通じて身近さを高めることが重要である。男女共同参画社会への理解は広がりつつあるが、世代や立場による意識の差が残るため、子育て世代や高齢層など多様な層へ工夫してアプローチしていただきたい。行政だけでなく、企業や学校とも協力し、地域全体で意識改革を進めていただきたい。